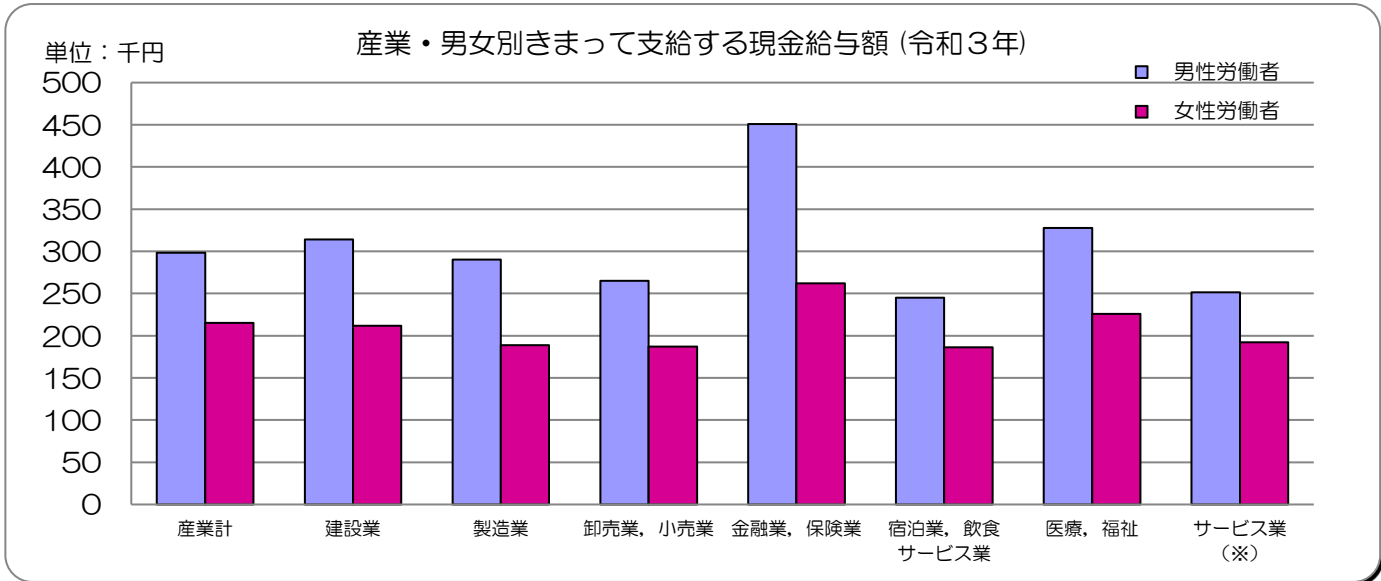


宮 崎 県 の 賃 金 概 要

1 産業・男女別きまって支給する現金給与額

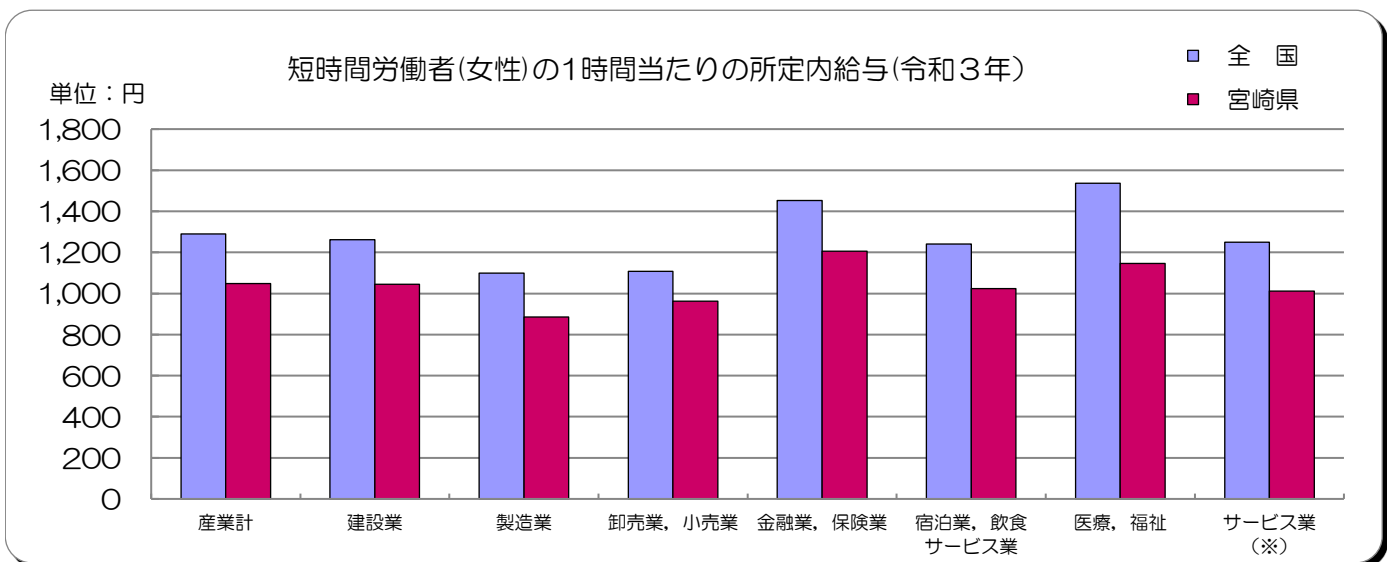
きまって支給する現金給与額（企業規模計）の男性労働者（100%）に対する女性労働者の産業別現金給与額比率は、下図のとおりであるが、その割合が特に低いのは金融業、保険業の58.1%、次いで製造業の65.1%である。（第1表参照）



	産業計	建設業	製造業	卸売業, 小売業	金融業, 保険業	宿泊業, 飲食サービス業	医療, 福祉	サービス業 (※)
■ 男性労働者	298.4	314.1	290.2	265.0	450.7	245.2	327.9	251.3
■ 女性労働者	215.1	212.0	188.8	187.0	261.9	186.3	225.8	192.2
女/男 (比率)	72.1%	67.5%	65.1%	70.6%	58.1%	76.0%	68.9%	76.5%

2 短時間労働者（女性）の所定内給与額

短時間労働者（女性）の1時間当たりの所定内給与額（時間額）を全国平均（100%）と宮崎県で比較してみると、下図のとおり産業計で81.2%である。業種別では、医療、福祉の74.6%が特に低くなっている。（第3表、第4表参照）



	産業計	建設業	製造業	卸売業, 小売業	金融業, 保険業	宿泊業, 飲食サービス業	医療, 福祉	サービス業 (※)
■ 全 国	1,290	1,261	1,099	1,107	1,452	1,241	1,536	1,250
■ 宮崎県	1,048	1,045	885	963	1,206	1,024	1,146	1,011
宮崎/全国 (比率)	81.2%	82.9%	80.5%	87.0%	83.1%	82.5%	74.6%	80.9%

(注) サービス業(※)は、正式には「サービス業(他に分類されないもの)」である。

3 産業別現金給与額の推移

令和2年の現金給与額を100とした場合、令和3年の指数は、下表のとおり産業計で99.7となっている。（第6表参照）

産業別現金給与額比率（令和2年＝100）

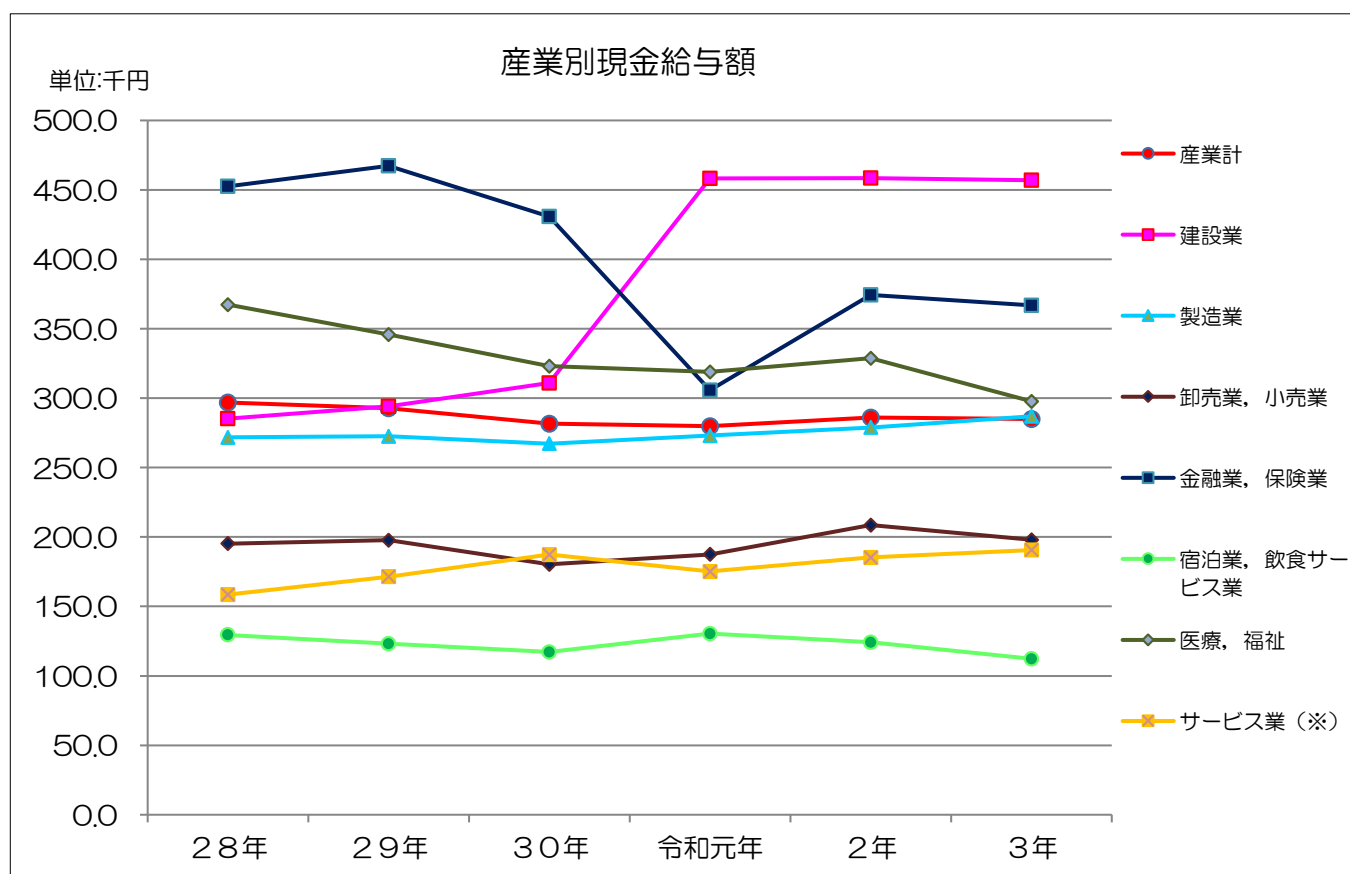
	産業計	建設業	製造業	卸売業, 小売業	金融業, 保険業	宿泊業, 飲食 サービス業	医療, 福祉	サービス業 (※)
28年	103.8	62.2	97.4	93.6	120.9	104.3	111.7	85.6
29年	102.4	64.1	97.7	94.8	124.8	99.2	105.2	92.5
30年	98.5	67.8	95.8	86.5	115.1	94.4	98.2	101.1
令和元年	97.9	99.9	97.9	89.9	81.7	105.1	97.0	94.5
2年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3年	99.7	99.7	102.9	94.9	97.9	90.5	90.6	102.9

産業別現金給与額の推移（事業所規模30人以上）

単位：千円

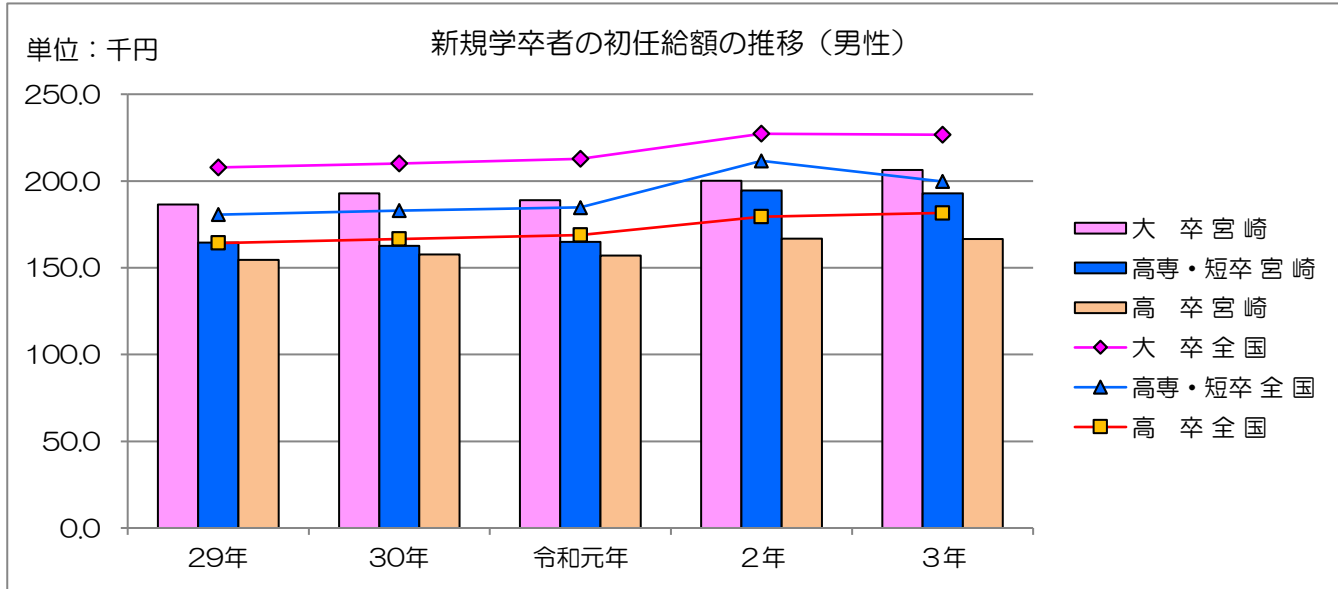
	産業計	建設業	製造業	卸売業, 小売業	金融業, 保険業	宿泊業, 飲食 サービス業	医療, 福祉	サービス業 (※)
28年	296.9	285.2	271.8	195.3	452.5	129.5	367.4	158.5
29年	292.8	294.0	272.5	197.8	467.3	123.2	345.8	171.4
30年	281.7	310.9	267.2	180.3	430.8	117.2	323.0	187.4
令和元年	279.8	458.2	273.1	187.5	305.7	130.4	319.0	175.2
2年	286.0	458.5	278.9	208.6	374.4	124.2	328.8	185.3
3年	285.0	457.0	287.0	198.0	366.7	112.3	297.8	190.6

（注1）サービス業（※）は、正式には「サービス業（他に分類されないもの）」である。



4 新規学卒者の初任給額

令和3年の宮崎県は、前年に比べ、男性では、「大卒」が額で6,100円、率で3.0%増であったのに対し、「高専・短大卒」が額で1,800円、率で0.9%、「高卒」が額で200円、率で0.1%の減となった。（第8表参照）

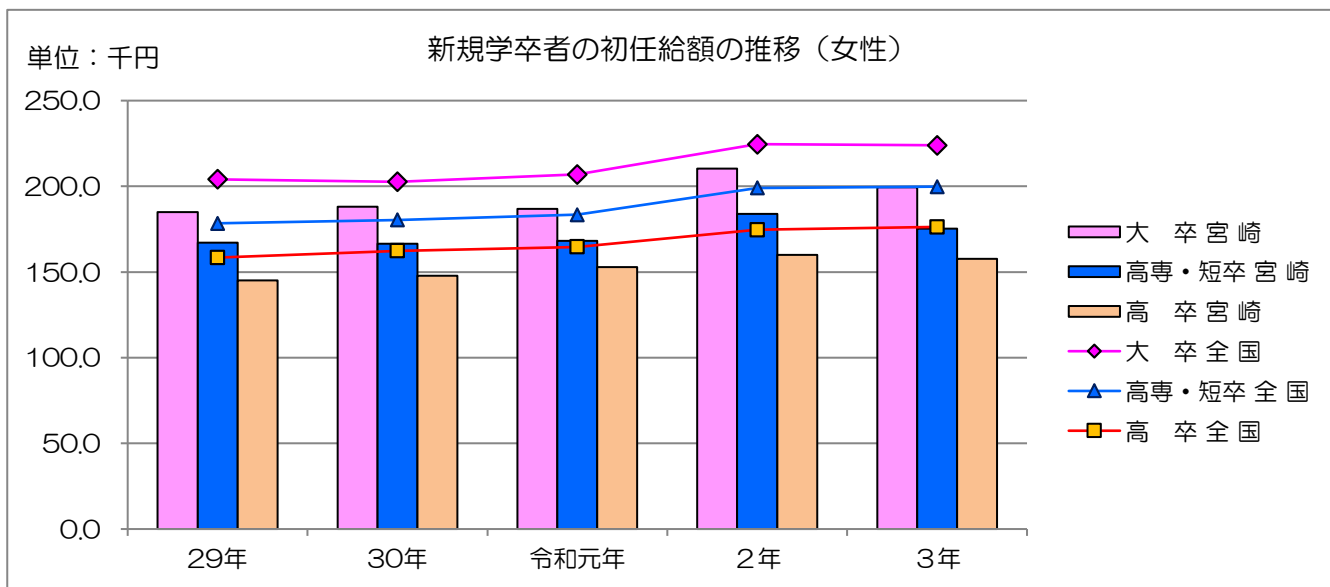


新規学卒者の初任給 男性 産業計

単位：千円

		29年	30年	令和元年	2年	3年
大卒	全国	207.8	210.1	212.8	227.2	226.7
	宮崎	186.5	192.9	189.0	200.2	206.3
高専・短大卒	全国	180.6	182.9	184.7	211.6	199.8
	宮崎	164.4	162.6	164.9	194.6	192.8
高卒	全国	164.2	166.6	168.9	179.5	181.6
	宮崎	154.6	157.6	157.1	166.7	166.5

女性では、「大卒」が額で10,800円、率で5.1%、「高専・短大卒」が額で8,600円、率で4.7%、「高卒」が額で2,400円、率で1.5%の減となった。（第8表参照）



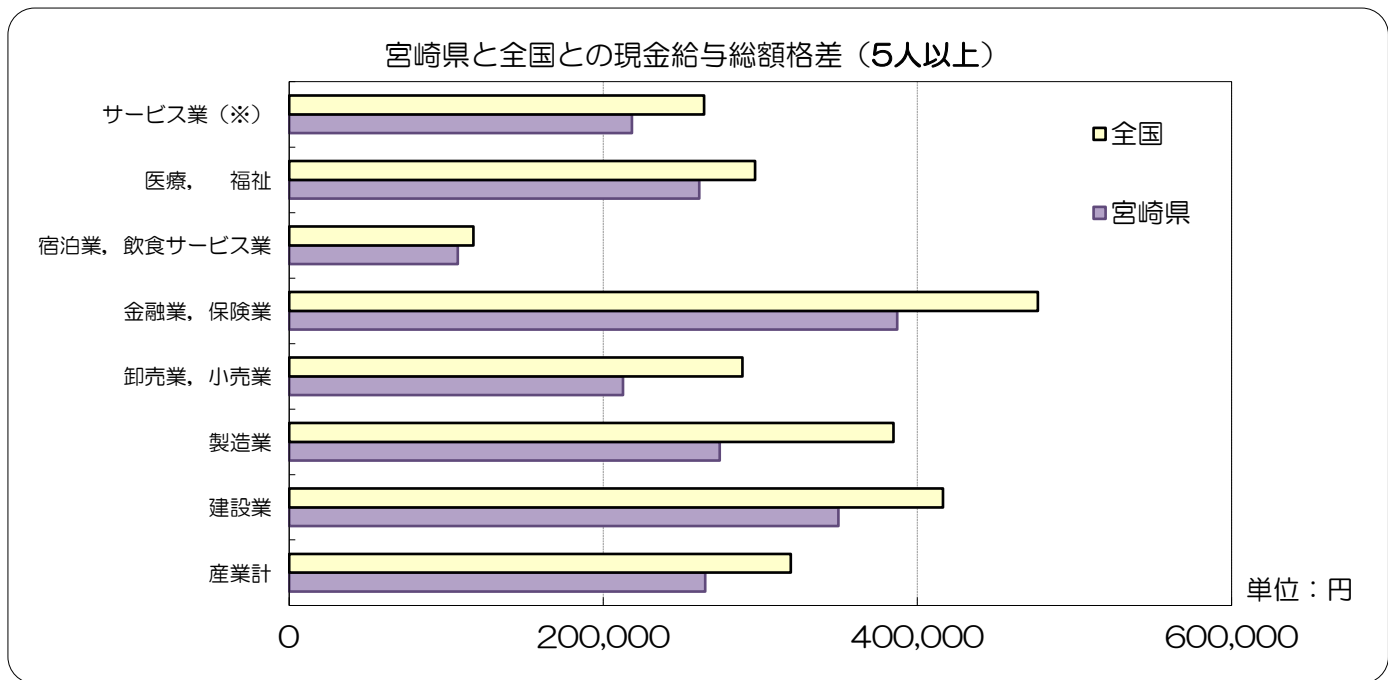
新規学卒者の初任給 女性 産業計

単位：千円

		29年	30年	令和元年	2年	3年
大卒	全国	204.1	202.6	206.9	224.6	223.9
	宮崎	185.0	188.0	186.8	210.3	199.5
高専・短大卒	全国	178.4	180.4	183.4	199.0	199.8
	宮崎	167.1	166.5	168.1	183.9	175.3
高卒	全国	158.4	162.3	164.6	174.6	176.3
	宮崎	145.0	147.9	152.8	160.0	157.6

5 宮崎県と全国の賃金比較

宮崎県と全国(100%)との賃金比率は、事業所規模5人以上の産業計では82.9%となっている。(第12表参照)

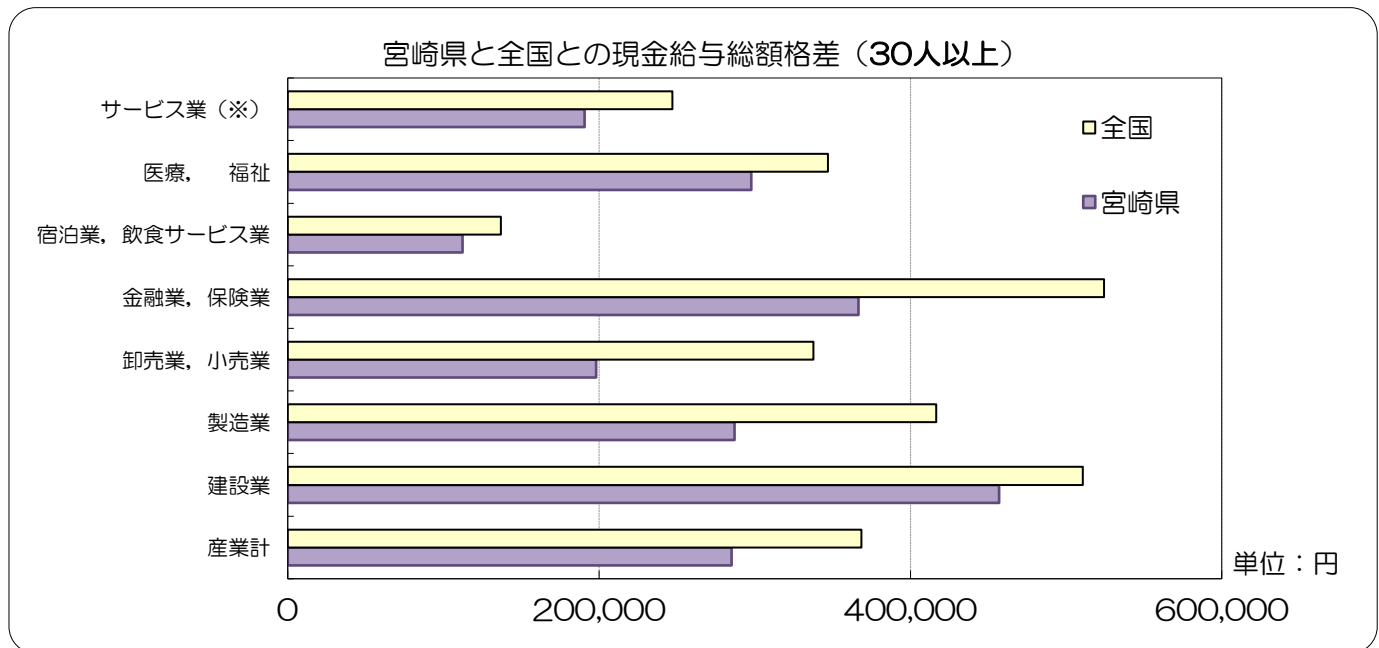


宮崎県と全国の賃金比較 (事業所規模5人以上)

単位:円

	産業計	建設業	製造業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	宿泊業、飲食 サービス業	医療、 福祉	サービス業 (※)
宮崎県	264,859	349,792	274,068	212,579	387,140	107,293	261,003	218,267
全国	319,461	416,278	384,765	288,500	476,589	117,182	296,620	264,075
格差	82.9%	84.0%	71.2%	73.7%	81.2%	91.6%	88.0%	82.7%

また、事業所規模30人以上は、下図のとおり産業計で77.3%となっている。(第12表参照)



宮崎県と全国の賃金比較 (事業所規模30人以上)

単位:円

	産業計	建設業	製造業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	宿泊業、飲食 サービス業	医療、 福祉	サービス業 (※)
宮崎県	285,012	456,963	286,961	198,041	366,740	112,331	297,755	190,594
全国	368,493	510,752	416,506	337,754	524,294	136,989	346,942	247,170
格差	77.3%	89.5%	68.9%	58.6%	69.9%	82.0%	85.8%	77.1%

(注) サービス業(※)は、正式には、「サービス業(他に分類されないもの)」である。